

(法第 28 条第 1 項関係様式)

2004 年度事業報告書

2004 年 4 月 1 日から 2005 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 日本都市計画家協会

1. 事業の成果

特定非営利活動法人の設立(2001年8月24日)から第3期目の2004年度は、事業計画に基づく各種の活動を、会員の自主的かつ積極的な提案と参画によって進め、事業内容、規模、活動地域も拡大し、まちづくり社会貢献団体としての成果をあげることができた。

(1) 主な事業内容

特定非営利活動法人となって4年目、まちづくりを通じた社会貢献活動の各事業を通じて、次第に社会に広く知られるようになってきた。

J S U R P の運営は、理事会を中心として方針を定め、各委員会、各事業担当理事、各事業運営会議、各支部そして事務局によって、各事業を推進してきた。会員の積極的な参加による活動が行われている。

調査研究事業に関しては、1研究会が活動停止、新たに7研究会が発足し、活発に活動を行っている。研究会は会員を中心として自主的な活動を行うこととして発足したが、ここから全国路地のまち連絡協議会が生まれ、あるいは特定テーマを期限を定めて研究する活動、研究成果を出版物として世に問うなどの、新たな展開が起きてきた。

政策提言事業については、市町村合併に伴う都市計画区域の再編成に関して調査研究が進められ、その成果は冊子としてまとめたが、政策提言を行うところまでにはいたっていない。政策提言事業は J S U R P の重要な事業であると位置づけて、年度当初に会員から提案募集を行ったが、上記の1件のみで積極的な展開にならなかった。

普及啓発事業は、発足当初から継続してきた「都市計画キャラバン」を向島地区で行い、第2回の都市計画家協会賞の選定と贈呈も予定通りに行った。

2003年度から始まった「美しいまちづくり」は東京商工会議所と連携し、またキャラバン・美しいまちづくりの延長上で北海道支部において全国都市再生モデル調査「札幌都心ストリート文化創出プロジェクト」を実施し、いずれも受託事業として成果をあげた。

各地での交流や活動を通じて支部を立ち上げる動きは、横浜支部の発足となった。横浜支部は、神奈川県エリアを対象としており、支部メンバー約70名である。

支援協力事業は、もっとも大きな柱であるまちづくり人材派遣助成事業として、2004年度は8団体に助成を行った。これまで延19の活動団体に助成したが、その評価をはじめている。

新たな事業として、全国路地のまち連絡協議会が生まれ、その事務局を J S U R P で担うこととした。J S U R P 会員に限らず全国の路地のまちづくりに関係する人々や団体を支援するとしており、これまでとは異なる広い展開となっている。

また、全国都市再生まちづくり会議・全国大会の開催を行うこととし、そのための特別委員会を設置するとともに、「全国都市再生まちづくり会議」なる新組織を立ち上げ、その事務局を担当することとした。全国のまちづくり活動を行う人々が一堂に集まる「まちづくり総決起大会」ともいべき大イベントを行い、草の根からおきてくるまちづくり活動におおきなドライブをかけたいという伊藤会長の発案である。

各支部の活動は、支部ごとにそれぞれ特徴をもっておこなわれているが、他の地域の会員との交流活動も動いている。横浜支部の発足により、関東圏での新たな展開が起きてきた。九州北部での会員の活動が活発になってきており、今後の期待をしている。

2004年度事業計画に基づいて、事業としては、特定非営利活動に係る事業のみを対象として、収益事業は行っていない。具体的には2に記載する事業を実施した。

(2) 実施体制**会員**

2005年3月31日現在の会員数(カッコ内は2004年度末)は、終身会員9(9)、正会員441(438)、個人賛助会員149(118)、学生会員12(9)、団体賛助会員9(10)の、計620(584)会員となった。

理事会

40名の理事により理事会主導の運営体制を敷いて、毎月の理事会で事業全体について内容を検討して活動の方針を進めた。

会長・副会長・常務理事による三役会と、事業ごとの担当理事制（財務、組織、事業、人材支援等）を敷いて機動的に活動に対応している。

各種委員会

広報委員会・国際委員会・交流委員会・家協会賞委員会・キャラバン委員会・職能特別委員会及び新たに活動基盤確立特別委員会と全国都市再生まちづくり会議特別委員会が発足、それぞれが活発に活動した。

支部

北海道支部と浜松支部にくわえて、新たに横浜支部が誕生した。また、福岡等でも新支部を立ち上げようとする活動が起きている。

各種事業運営会議

各種事業に対応して、それぞれ事業担当理事と担当会員が運営会議を組織して活動を采配した。

各種研究会

オランダ都市計画研究会・街なか研究会・遊歩都市研究会及び新たにウルバニカ研究会・（仮称）持続型社会研究会・都市リスクマネジメント研究会・自転車まちづくり研究会・少子高齢化研究会・土地区画整理事業諸問題研究会・田園楽住研究会が発足し、それぞれ活動した。

事務局

東京本部において常務理事兼事務局長1名、専任事務局員1名及び臨時職員が常駐して全体的な活動サポートを行い、北海道支部及び浜松支部においてはボランティア会員等による事務局で、それぞれの地域活動サポートを行った。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支払額(千円)
NPO人材連携調査	「まちづくりNPO法人の実態およびニーズ調査」の業務委託先であるNPO法人「都市住宅とまちづくり研究会」からの報告および、3箇所のまちづくりセンター所長等へのヒアリング等を踏まえて、調査報告書を作成中。		協会会議室	まちづくり市民・NPO連携調査検討会メンバー6名		0
	・海外における都市計画に関する専門家教育及び人材支援プログラム等についてひきつづき事例の調査を行い、将来の日本都市計画家協会の人材支援プログラムや教育研修プログラム等の検討に資する、情報の収集及び整理を行った。最終報告書を作成し提出した。報告内容の公開について検討中。 ・調査対象国(アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、オランダ、アジア)		協会会議室	ワーキングメンバー5名		0
調査研究	・公開定例会開催 ゲスト: Mr. ストーク、Mr. ワイヤーズ(オランダ大使館) テーマ: Recent Developments in Spatial Planning in The Netherlands	7/8	協会会議室	幹事8名	公開19名	57
	・公開定例会開催 ゲスト: 大西隆氏(東京大学先端科学研究センター) テーマ: オランダの何に注目するか	7/22	協会会議室		公開22名	
	・定例会開催 ゲスト: Mr. クロイケルズ(ユトレヒト大学) テーマ: 日蘭比較とglobalな潮流	11/4	協会会議室		非公開	
	・公開定例会開催 ゲスト: 吉良森子氏(在オランダの建築家) テーマ: オランダにおける建築と都市計画のプロセス	11/29	協会会議室		公開10名	
	・公開定例会開催 ゲスト: 大隈哲氏、西田敬氏、小浪博英氏(JSURP会員) テーマ: オランダを訪ねて	1/31	協会会議室		公開15名	
	・公開定例会開催 ゲスト: 大隈哲氏(オランダの新しい) テーマ: オランダにおける建築と都市計画のプロセス	2/8	協会会議室		公開14名	
	・ニュース発行(2回)「Planners45号」寄稿(研究会の紹介)				公開	
	・2004~2005年度の2ヵ年受託事業、研究会設立10周年となる2006年2月を控え、蓄積された研究会活動の成果を家協会会員あるいは社会に広く還元し会員活動の活性化に資すること、またその作業を通し日蘭両国の専門家、研究者による連携・交流促進の契機となること等を目標に報告書を作成する ・ワーキング・グループ会合を計3回開催 (作業内容) ア. 報告書の構成設定 イ. 既存情報の整理 ウ. 追加情報・最新情報の資料収集・翻訳等 エ. テーマ別中間報告(定例会開催)	5/31, 9/9, 12/21	協会会議室	ワーキングメンバーのべ23名	非公開	0
オランダ都市計画研究会作成事業						

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支払額(千円)		
調査研究	街なか研究会	・第40回研究会 講師：佐原滋元氏(向島百花園8代当主) テーマ：開園200年を迎える向島百花園	6/16	協会会議室	幹事8名	公開17名	348	
		・第41回研究会 講師：田村一夫氏 テーマ：多摩ニュータウンの現在と展望	8/18	協会会議室		公開14名		
		・第42回研究会「第2回全国路地サミット～路地の保全と再生」	8/28	大阪市立住まい情報センター		公開約70名		
		・第43回研究会 講師：中野好文氏(足立都市活性化センター) テーマ：区政における「まちづくりに」求められたもの、求められるもの	8/25	協会会議室		公開10名		
		・第44回研究会 講師：勝又晃衣氏(NPO川越蔵の会広報担当理事) テーマ：川越のまちづくりとパートナーシップ	11/17	協会会議室		公開14名		
	路地のまち連絡協議会・全国街なか研究会	・第2回全国路地サミットを契機に「全国路地のまち連絡協議会」を立ち上げた ・メーリングリスト及び全国路地のまち連絡協議会ニュースの配信をスタート、16号まで発行、ホームページ開設 ・J SURP 新規事業として承認を受け、「英国王立園芸協会日本支部」とJ SURP「美しい街づくり事業と連携して路地園芸コンペ企画会議をスタート	8/28,9/9,11/2,12/2,ほか	協会会議室ほか	会員36名	公開参加者約70名		
		遊歩都市研究会	・第7回研究会 講師：南部繁樹氏((株)都市構造研究センター代表取締役) テーマ：ヨーロッパのパスサージュの歴史、発展の経過、役割	12/10	協会会議室	幹事5名	公開15名	46
			・第8回研究会 講師：吉田氏(懇談会代表) テーマ：下北沢を歩こう！	2/12	協会会議室		公開19名	
	・幹事会		10/20	協会会議室	非公開			
	まちづくりの意外な障壁調査研究会	・2003年度に新設した「まちづくりの意外な障壁研究会」は会員アンケートも含めて計6回の会合を持ち、2004年度は休止状態が続いていたが、研究会の記録を座長が中間的にとりまとめた。研究会活動は、2004年度をもって廃止する。なお、今後の活用については、本資料を土地区画整理事業諸問題研究会に引き継ぐとともに、2005年8月6日の全国まちづくり会議分科会での発表を検討する	随時	協会会議室ほか	会員5名	非公開	17	
	(仮称)持続型社会研究会	・第1回研究会：ライフサイクルマネジメントについて説明	4/27	協会会議室	会員32名	公開13名	29	
		・第2回研究会：研究会の方向について議論	5/25			公開13名		
		・第3回研究会：「サステナブル」を希求することとなった原点に視座を据える	6/22			公開10名		
		・第4回研究会 講師：横山禎徳氏 テーマ：「社会システム・デザイン試論」について	7/27			公開16名		
		・第5回研究会 テーマ：横山禎徳氏の「社会システム・デザイン試論」について意見交換	9/28			公開7名		

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支払額(千円)
自転車まちづくり研究会	・自転車まちづくり研究会は、メンバーが自転車を活用した未来のまちづくりのあり方や方向性・内容を、共に考え、提案・発信し、応援する組織で昨年発足 ・2004年度は、主に講師例会を開催しながら、自転車まちづくりのマニュアル本の出版について検討を進めてきた	4/8 ニュースレターで会員募集 5/31 会報春号で会員募集		会員 58 名 幹事 11 名 (内、代表・副代表 各 1 名)	公開のべ 112 名	203
	・第 2 ~ 3 回設立準備会	4/27、6/1	協会会議室 ほか		のべ 18 名	
	・運営会議、拡大運営会議	8/30、1/21			のべ 21 名	
	・第 1 回研究会 準備会で整理した活動案についての確認・協議と設立発起人の大隈・須藤両氏が、今後の手がかり紹介	7/12			公開 24 名	
	・第 2 回研究会 色川氏・古池先生からの海外事例。中部地方整備局 大脇氏からの「愛・地球博 自転車マップ」の話題提供	9/28			公開 20 名	
	・第 3 回研究会 大脇氏より、自転車と法制度の関係について話題提供と出版計画協議	11/30			公開 11 名	
	・第 4 回研究会 田村氏より、武蔵野市自転車対策について、話題提供。アンケートについての結果報告と、出版に向けたその構成協議	3/16			公開 18 名	
調査研究 少子・高齢化研究会	・準備会	5/7		協会会議室	会員 37 名、 幹事 6 名(内、 代表 1 名)	公開 13 名
	・第 1 回研究会 講師：野村勲教授(日本大学理工学部建築学科) テーマ：少子・高齢化研究における課題	6/2	公開 13 名			
	・第 2 回研究会 講師：藤正巖教授(政策研究大学院大学) テーマ：人口減少社会をどうとらえるか	8/4	公開 21 名			
	・第 3 回研究会 講師：松谷明彦教授(政策研究大学院大学) テーマ：人口減少時代の都市と地域	10/6	公開 29 名			
	・第 4 回研究会 講師：竹崎孜氏(元ストックホルム大学客員教授) テーマ：スウェーデンの子育て・老後・居住・まちづくり	12/3	公開 13 名			
	・第 5 回研究会 講師：松村秀一助教授(東京大学大学院) テーマ：コンバージョンによる都市と地域の再生	2/16	公開 25 名			
土地区画整理事業 諸問題研究会	・第 1 回研究会 議題 15 題の中から 3 題に。「土地区画整理事業の活用は「いや」とする現状とその課題」「地方公共団体の土地区画整理事業に対する認識と課題」「望まれる土地区画整理事業のあり方」	9/15	協会会議室	幹事 18 名	公開 11 名	34
	・第 2 回研究会 土地区画整理事業の目的、減価補償地区における土地区画整理事業の仕組み、土地区画整理事業の沿革、2004 及び 2005 年度国の予算と基本方針、既成市街地における土地区画整理事業実施例検討	11/22			公開 11 名	

事業名		事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支払額(千円)	
調査研究	土地区画整理事業 諸問題研究会	・第3回研究会 事業推進上の課題と問題点、制度上の課題と問題点、土地区画整理事業が既成市街地へシフトする課題、事業化へのインセンティブの不足	12/13	同上	同上	公開 10名	同上	
		・第4回研究会 事業推進上の問題点、制度上の問題点、事業が既成市街地へシフトする課題、佐世保塩見地区における土地区画整理事業との合併施行の資金計画、「都市デザインと区画整理」の文献紹介	1/17			公開 13名		
		・第5回研究会 地方公共団体の財政状況、国の基本方針、公共事業の考え方、個人・組合施行の区画整理の活用	3/15			公開 8名		
	ウルバニカ研究会	・都市の絆、街づくり教育、その他都市哲学関連の三つをテーマとし、研究会にころもがえして活動 ・「街づくり教育」は街づくり教育研究会(このウルバニカ研より派生、独自活動を行っている)にお任せした	幹事会1回 「街づくり教育」研究会 3回		協会会議室	会員 26名	非公開	59
		・第14回研究会 講師：澤井安勇氏(総合研究開発機構理事) テーマ：地方政府システムの展望と街づくり	8/3			公開 13名		
		・第15回研究会 講師：菊池威氏 テーマ：NPOと小さな政府を「田園都市を解く」に聴く	3/18			公開 9名		
	都市リスクマネー ジメント研究会	・研究会開催(第5~7回)	第5回 5/28 第6回 7/30 第7回 8/27		協会会議室	会員 12名	非公開	0
	田園楽住研究会	・市街化調整区域での田園居住勉強会(福岡都市圏での市街化調整区域・地域づくりについて、地域問題の共有や田園居住などの土地利用手法を行政や企業の枠を越えていっしょに考える勉強会の立ち上げ)	6/29		アクロス福岡、久留米大学、サライトオフィス	北九州 会員 6名	公開 28名	0
		・市街化調整区域での田園居住勉強会(“田園楽住による地域づくり”のコンセプトとプランについて話題提供後、福岡都市圏での郊外型田園居住の可能性について議論した)	8/11		アクロス福岡、久留米大学、サライトオフィス	北九州 会員 4名	公開 20名	
		・糸島地域づくり相談会 第6回(糸島の芥屋地域の地域グループと共に竹藪に埋もれている石垣を見えるようにして、地域の自慢の場所にする取り組みを推進し、都市住民と地元住民と一緒に糸島地域の興味・関心ごと、地域問題などについて意見交換を行った)	8/22		志摩町ふれあいセンター	北九州 会員 2名	公開 15名	
		・市街化調整区域での田園居住勉強会 講師：中野氏(古賀市土地利用対策室) テーマ：古賀らしい里地里山居住	9/24		アクロス福岡、久留米大学、サライトオフィス	北九州 会員 4名	公開 15名	
		・市街化調整区域での田園居住勉強会 講師：前原市都市計画課長 テーマ：前原市の市街化調整区域の活性化策である田園居住の計画について	11/18		アクロス福岡、久留米大学、サライトオフィス	北九州 会員 4名	公開 18名	

事業名		事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支払額(千円)	
調査研究	田園楽住研究会	・市街化調整区域での田園居住勉強会(田園地帯が多く残っている福岡県久山町での田園居住環境づくりや地域づくりの話聞きながら、都市郊外地域での土地利用について考えた)	1/18	アリス福岡、久留米大学、サテライトワイ	北九州 会員 5 名	公開 20 名	同上	
		・糸島地域づくり相談会 第 7 回(糸島で地域づくり活動を行っているグループが集まり、糸島地域での活性化のあり方や都市住民とのつきあいなどについて情報交換などを行った)	3/26	志摩町ふれあいセンター	北九州 会員 2 名	公開 18 名		
		・市街化調整区域での田園居住勉強会(福岡都市圏の住宅需要やマーケティングに携わってきた木村氏と、これからの都市郊外部の住宅需要はどうなるか、田園居住型の住宅ニーズはあるのか、などについて議論した)	3/29	(株)よかネット 会議室	北九州 会員 3 名	公開 12 名		
政策提言	都市計画区域再編研究会	・2003年12月より家協会有志により運営会議を立ち上げ、都道府県アンケートの実施(都市計画学会と共同)全国自治体を招いての研究会の開催(3回)、有識者会議などを開催 ・運営会議開催 ・研究会作業チーム会議 ・研究報告書作成	研究会 3回 有識者会議 1回 運営会議 8回	協会会議室 ほか	運営メンバー 18名	公開のべ150名	1,526	
普及啓発	都市計画キャラバン	・東京、向島の地域団体「向島学会」及び墨田区と連携した半年にわたる様々なイベント「向島Year2004」を開催、主なテーマは、緑と路地、商店街活性、アートによるまちづくり ・イベントの企画運営支援、多数の会員のシンポジウム参加をはじめ、会員による空き店舗活用提案コンペへの応募もあった ・本キャラバンから派生して、全国路地のまち連絡協議会が発足したほか、向島百花園と英国園芸協会との連携が生まれた ・キャラバン委員会開催 ・実行委員会開催	4~11月	協会会議室 および 向島(東京)	実行委員会 メンバー 約30名		1,935	
		・スタートアップ・シンポジウム「まちづくりとアートイベントの連携」開催	7/24			公開70名		
		・向島百花園創設200周年記念事業、シンポジウム「向島百花園を活かした緑のまちづくり」開催 ・グリーンマップ作成のワークショップ同時開催	9/4				公開150名	
		・ミニシンポジウム「向島におけるグリーンと暮らしとまちづくり」開催	9/26				公開100名	
		・「鳩の街商店街ローカルキッチン(模擬店)」開催 ・商店街で模擬店や映画上映開催 ・空き店舗活用提案コンペ案に対する市民投票が行われた	10/23				公開100名	
		・「鳩の街商店街空き店舗活用提案コンペ」開催	10/30				公開100名	
		・「向島キャラバン・本大会」開催 ・半年のイベントの報告や墨田区長と伊藤会長の対談もあり、発展的なまちづくりが約束された	11/27				公開160名	

事業名		事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支払額(千円)
普及啓発	都市計画画家協会賞	・第9～11回委員会開催(募集要綱、応募方法の検討、応募要綱の確定) ・チラシを配布、国交省記者クラブへの投げ込み、メーリングリストによる周知、過去の情報をHPにアップ ・応募総数28、まちづくり教育部門(重複応募)10、学生まちづくり部門4、北海道支部3、浜松支部2 ・家協会メンバーを中心とした審査委員会で大賞を選考する	4/21 9/1 10/1 応募期間 11/1～2/28	協会会議室	委員8名	非公開	1,607
	美しいまちづくり事業	・2003年度に都市再生モデル調査に選定された、受託事業「美しいまちづくり推進調査」の報告書を増刷 ・地域と連携した美しいまちづくりの支援の教育プログラムとして、美しいまちづくりふくおか2004を支援、講師として山口ひろこ氏を派遣し、活動費の助成も行った ・運営会議を計11回開催	4/27、5/26 7/27、9/24 10/13、11/24 12/6、12/24 1/17、1/20 1/25、	協会会議室 ほか	運営メンバー 8名	非公開	721
	まちづくりにおける美しい商店街における美しいまちづくりプログラム	・東京商工会議所と連携を深め、同会議所内にまちづくり支援組織である「地域創造センター」を創設するにあたり、その支援を行った ・地域創造センターの活動の柱として「商店街における美しいまちづくり」を推進することとし、そのためのプログラムの企画づくりを受託し、提案を行った ・3月末には地域創造センター創設に向けたシンポジウムを共催	3/22	東京商工会議所国際会議場ほか		公開200名	831
	全国都市再生モデル調査・札幌都心ストリート文化創出プロジェクト	・今後展開される都市開発等(地元企業、行政)とも連携しつつ、北3条通のもつ資源・価値を再生しながら持続的なまちづくりを展開することを目的に、全国都市再生モデル調査を実施 ・以下調査概要 1)地域の資源・価値の発掘などまちづくりステーションの活動 2)地域の資源・価値を発信するホームページ、プロモーション映像、ブックレット 3)まちづくりビジョン(案)の作成、都市計画提案に向けた取り組み 4)成果品 報告書、まちづくりプロモーション映像、ホームページ、ブックレット	9/11、10/10 10/20、10/17 10/25、11/5 11/13、12/7 12/8、12/14 12/21、12/24 1/5、1/7 1/12、1/19 1/24、2/11	札幌市北3条通	会員12名	公開参加者のべ50名	4,782
	交流サロン・懇話会	懇話会「スウェーデンストックホルムでの都市計画 実例と教訓」 講師：渡辺満氏(渡辺満建築事務所)	5/27	協会会議室	交流委員 17名	公開13名	258
		懇話会「端末物流施設効率化」 講師：鈴木秀章氏・片岡正英氏(東京都)	6/18			公開13名	
懇話会「亜細亜のモデルを考える - 都市の空間再生方策 -」 講師：北沢猛氏(東京大学)		7/20		公開13名			
懇話会「計画と行政のはざま」 講師：原田敬美氏(都市政策研究所)		9/17		公開16名			
懇話会「歴史的動態保全～ニューヨークのヒストリック・ディレクトリを中心に」 講師：窪田亜矢氏(工学院大学)		10/28		公開9名			
懇話会「米国の都市デザイン・まちづくりの動向」 講師：池澤寛氏(アール・ディー・デザイン)		11/30		公開19名			

事業名		事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支払額(千円)
普及啓発	交流サロン・懇話会	東京サロン「田園楽住構想」 講師：糸垂貞喜氏（よかネット）	11/10	協会会議室	同上	公開 10 名	同上
		地域サロン「横浜サロン」 講師：なし	5 月	横浜市内		公開 20 名	
		地域サロン「山形サロン」 講師：山畑助教(東北芸術工科大学) 小嶋氏(蔵オビハチ) 他 1 名	11/13-14	山形市内、 蔵・オビハチ		公開 11 名	
	キャラバン	・第 3 回インターキャラバン開催 テーマ：「お腹で考えるまちづくりシリーズ NO.2 お新香の巻」 (漬け物をテーマに、佐賀県七山村と新潟県村上市 + 東京の三元画像中継で実施)	12/12	佐賀県七山 新潟県村上 東京都		公開 30 名	342
	づくり講演会	・「生涯学習まちづくりの神髄」 をテーマとして開催 ・概要： ア) 基調講演(小松正明氏) イ) フリーディスカッション ウ) 交流会	2/4	札幌市 ポールスタ ーホテル	支部会員等 25 名	公開 160 名	153
	まちづくり出版・販売	・2003 年度に出版した「都市・農村の新しい土地利用戦略」が、学芸出版社で増刷(1000 部、累計 3500 部)されたので、さらに販売(107 冊購入して 63 冊販売)を継続し、出版社からは印税収入を得た ・新たな出版企画は発生しなかった	随時	各種イベント会場等 全国発送	10 名		295
	支部立ち上げ	・会員増強を目的に新たに A 4・1 枚の案内チラシを作成し、イベント会場で宣伝配布した ・会報の全国発送、家協会賞募集の案内とともに全国に発送した	随時	各種イベント会場等 全国発送			112
	支部立ちあげ	・「横浜の集い」として月 1 回の定例会を開催してきたが、2005 年 2 月 1 日、正式に横浜支部を設立 ・定例会、設立準備会、設立発起人会、設立総会を開催	1/22,10/2 ほか	横浜市	横浜支部会員 68 名	公開 19 回 170 名	296
		・日独シンポジウムイン横浜「横浜都心部の再生と歴史資産の保全活用」を開催	10/2	横浜市 BankART1929		公開 80 名	
	支援協力	・支部運営会議開催	5/29,2/24,	浜松市	支部会員等 約 30 名	非公開 のべ 19 名	730
・歩いて暮らせる / 自転車によるまちづくり研究会(第 4 回研究会、事前打合せ、イベント・浜松市内散策コース「家康の散歩道」、イベント・浜松市村櫛町 OMソーラー協会視察コース)		6/3,3/11, 3/26,3/27,	公開 のべ 41 名				
・まちなみ調査(打ち合わせ、現地調査ヒアリング、笠井の歴史とまちなみを語る会)		8/11,8/12, 9/4	公開 のべ 40 名				
・景観研究会(「色彩から景観を考える」シンポジウム)		3/19	公開 40 名				
・ウエルネス観光(みんなでめざそうウエルネスライフ・協力事業)		11/6	公開多数				
・その他(旧浜松銀行協会の価値を知り活用を考える緊急市民フォーラム事前打ち合わせ、第 1 弾、第 2 弾、まちづくり講演会「浜松のバイオニアたち」、建築 WEEKin 浜松 2005「建築展」・後援事業)		8/1,10/8, 10/10,1/30, 2/5-2/13	公開 のべ 150 名				

事業名		事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支払額(千円)
学習実践活動	防災まちづくり	・東京未来塾への支援(首都大学東京が高等学校と連携して開講した人材育成プログラム「東京未来塾」において、「快適で安全な都市づくり」をテーマとした高校生 50 人を対象とするまち歩き学習を、防災まちづくり学習アドバイザー6名が参加、支援した)		東京都内	防災まちづくりアドバイザー-8名	公開 50名	0
		・葛飾区立東金町小への支援(総合学習の中での「守るぞ命!自分に何が出来る?」をテーマとした4年生の防災まちづくり学習を2名のアドバイザーが支援した)		葛飾区立東金町小学校		公開 40名	
	教材の開発	・2004年12月、インド洋大津波をきっかけに脚光を浴びることになった古典「稲むらの火」の戦前版教育紙芝居を、全国の小・中学校の現場での防災まちづくり学習の支援教材とするために復刻(300部)希望する小・中学校に無償提供した			担当会員1名	公開多数	200
支援極力	新潟中越地震 プランニングエイド	・当協会の有志と新潟県中越地震に心を痛めているプランナーたちが集まって、『新潟県中越地震プランニングエイド』を立ち上げた ・運営会議開催 ・被災した自治体(長岡市、見附市、小千谷市、川口町、及び山古志村民の仮設住宅等)の状況を把握、どのような支援ができるのかを模索するところから取り組みを始めた ・小千谷市において産官学リレーシンポジウム、3月23日には長岡市において復興シンポジウムとイベント開催	1/20, 1/21-22, 1/23, 3/22-23	協会会議室、長岡市、見附市、小千谷市、川口町、山古志村民の仮設住宅ほか	運営メンバー18名	公開のべ200名	276
	人材派遣助成	・公募案件は、次の7団体に専門家派遣を行った NPO千葉まちづくりサポートセンター(千葉県) 飛騨高山まちづくり本舗(高山市) 太子堂2・3丁目地区まちづくり協議会(世田谷区) おんなの目で大阪の街を創る会(大阪市) NPO法人かわだ夢グリーン(鯖江市) 井草・大門まちづくり研究会(足利市) 倉敷再生まちづくり計画を実現する会(倉敷市) ・会長枠は、美しい景観を創る会(東京都) 中越地震大地復興会議(新潟県)に専門家派遣を行った ・運営および選定会議開催	4/26, 8/12, 10/8,10/16	千葉県 高山市 世田谷区 大阪市 鯖江市 足利市 倉敷市 東京都 新潟県	担当理事および会員5名	公募9件	3,485
育成研修	四市連協・まちづくり塾講師派遣	特別講義(講師:伊藤滋会長)	2/23	武蔵野市	会長1名 公募会員2名	公開参加塾生24名のべ206名(塾生以外の四市職員も参加)	301
		・派遣専門家職務内容 初回:地区計画制度の概要と実際について(柳沢と永松で分担してレクチャー、チームごとにスタディー地区を選定) 第2回:地区カルテと現況図を作成し、問題点の討議(作業ガイダンス:永松、総評:柳沢) 第3回:地区の将来像、行政がすべきこと等の検討(作業ガイダンス&総評:松永) 第4回:地区計画案(地区整備計画、整備計画図)の作成(作業ガイダンス:永松、総評:柳沢) 第5回:発表用資料(研究発表会に向けたプレゼン用)の作成(作業ガイダンス&総評:松永) 第6回:グループ別発表会、講師総評	第1回 10/5 第2回 10/29 第3回 11/19 第4回 12/2 第5回 12/21 第6回 1/19				

事業名		事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支払額 (千円)
育成研修	セミナー・学校 北海道まちづくり	・スチューデント・セミナー (2005年度に延期)					0
		・地域環境ワイズユース大学 (2005年度に延期)					
	北海道支部・研究会	・タイディタウン運動研究会 主旨: アイルランドのタイディタウン運動の起源、理念、手法等を研究し、北海道の都市・地域づくり活動に活用する	4/26,5/24, 6/29,7/29, 9/3,10/8, 11/16,12/28, 2/3,3/11	札幌市	支部会員等 約 25 名	公開多数 200 名	67
		・広域都市田園計画勉強会 主旨: 都市と田園の境界エリア(ラーバンエリア)の新しい土地利用の具体像を探り、実現化のための手法を研究・提案する	4/30,6/3, 8/13,2/4				
		・安全安心まちづくり研究会 主旨: 「総合学習」に「まちづくり教育」と「安全安心教育」を導入・展開するために教職員との交流研究を実施する	7/22,9/24, 10/1,10/12, 10/18,11/25, 12/13				
		・都市・地域づくり道場 第1回(講師: 北の屋台の坂本氏、テーマ: “屋台の達人 まちを語る”) 第2回(講師: NPOシンラの藤崎氏、テーマ: 脱エコ宣言～知床の世界遺産とエコツーリズム)	11/19,1/20				
	北海道支部・アフターキャラバン支援	・釧路地区アフターキャラバン 主旨: 都市計画キャラバンで議論された釧路の『かお』づくり拠点を橋南西部地区で進める ・その後、ゆめこい倶楽部の設立、継続的なまちづくり体制を確立 ・かおづくりプロジェクト、設立準備会、設立総会を開催	5/8,7/24, 10/23,8/11, 9/7,9/22, 10/6,10/19, 11/1,11/11, 1/14,2/1, 2/5	釧路市	支部会員ほか 約 30 名	公開多数 120 名	480
		・帯広地区アフターキャラバン 主旨: 「公共のオープンスペースにカフェを設置すると何か起きるのか体験しよう」という試み ・オープンカフェの出店、ワークショップ等参加、帯広まちなか交流ネットワーク(仮称)への参加	5/5・6, 12・13, 19・20, 7/20-23, 7/24・25	帯広市			
		・旭川地区アフターキャラバン 活動報告なし					
	職能確立	職能確立事業	・復活職能特別委員会(第7～15回)開催 ・「都市計画・まちづくり専門家」に関するアンケート実施、アンケート対応会議開催 ・特別委員会での議論を2005年度プランナーズ春号の特別企画に中間報告としてまとめた	4/12,5/19, 6/23,7/15, 7/26,9/8, 9/21,10/29, 11/18,12/20, 1/28	協会会議室	委員 19 名	非公開
・入札問題を考える5会連絡会			4/14,5/10, 12/17	J I A			
国際交流	講演会 国際	・国際セミナー「海外コンペティション入選者に聞く」を開催(JSURP国際委員会と都市環境デザイン会議の共催)	5/20	工学院大学	委員 7 名	公開 70 名	365
	門家・組織交流 世界都市計画専	A P A 大会に派遣 American Planning Association (APA) 全国大会に正式招待され、倉田国際委員長が代表参加	4/24-28	ワントンDC		公開 参加者 5200 名	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支払額 (千円)	
情報発信	・ 広報委員会 (第 20 ~ 28 回) 開催	4/5, 5/13, 6/24, 7/29, 8/26, 9/16, 10/21, 2/17, 3/25	協会会議室	委員 18 名	非公開	4,140	
	会報発行	特集記事、活動報告、組織状況など 第 43 号 (2004 年夏号) 特集 第 2 回日本都市計画家協会賞 / 景観特集導入編 第 44 号 (2004 年秋号) 特集 景観特集 第 45 号 (2005 年冬号) 特集 向島キャラバン	季刊 3 冊		会員、自治 体関係者、 一般 計 3000 部		
	レター 発行	活動報告、事業予告等	月刊 12 回		事務局	会員 約 650 名	47
	イン サイト 更新	会組織紹介、活動報告、事業案内、 入会案内等、	随時		事務局	公開多数	0
	メー ル配 信	イベント情報、紹介情報等	随時		事務局	配信多数	0
	案内 パン フ 増刷	A 3 観音リーフレットの残部がなくな ったので、内容を更新し 2000 部を増刷 した			広報委員会・事 務局	配布多数	146
	北海 道情 報交 流	・ 北海道支部のホームページ及びメー リングリストの運営及び管理の実施 ・ 北海道のまちづくり関係者へメール ニュースを発信 (創刊号 ~ 第 10 号ま で)	随時		支部会員 2 名 事務局 1 名	公開	0

(2) 収益事業 無し

(法第 28 条第 1 項関係様式)

2004年度 財産目録

(2005年3月31日現在)

特定非営利活動法人 日本都市計画家協会

(単位:円)

科目・摘要		金額		
資産の部				
1 流動資産				
現金預金				
現金	現金手元有高 東京	236,906		
	現金手元有高 北海道	19,751		
	現金手元有高 浜松	20		
普通預金	みずほ銀行神谷町支店	19,513,127		
	北洋銀行札幌駅南口支店	343,690		
	みずほ銀行神谷町支店(浜松支部)	429,945		
郵便貯金	郵便貯金	70,020		
	郵便振替口座	15,297,890		
売掛金	東京商工会議所 美まちづくり	1,050,000		
	北海道開発局 都市再生北海道	5,983,000		
	インターネットキャラバン 参加費	6,000		
	武蔵野市まちづくり塾	252,000		
立替金	テレパック	209,748		
仮払金	倉敷再生まちづくりを実現する会他	285,837		
	流動資産合計		43,697,934	
2 固定資産				
工具器具備品	パソコン1台	33,162		
電話加入権		149,968		
差入敷金	チャンピオンビル保証金	1,573,735		
	固定資産合計		1,756,865	
	資産合計			45,454,799
負債の部				
1 流動負債				
仮受金	都心コンベンション実行委員会	45,600		
未払金	都市再生北海道外注作業費	1,229,900		
	稲村の火復刻 防災学習支援費	200,000		
	中越復興シンポジウム開催費用	500,000		
	報告書等印刷費	2,103,200		
	委員会出席等出張旅費	206,785		
	海外実態調査費	450,000		
	原稿料・会議費・講師謝金等	323,584		
	都心コンベンション実行委員会	256,810		
預り金	職員に対する源泉所得税	124,364		
	職員に対する労働保険料	26,886		
	職員に対する住民税	5,600		
	預り源泉税	64,165		
	流動負債合計		5,536,894	
	負債合計			5,536,894
	正味財産			39,917,905

(法第 28 条第 1 項関係様式)

2004年度 貸借対照表

(2005年3月31日現在)

特定非営利活動法人 日本都市計画家協会

(単位:円)

科 目	金 額	
資産の部		
1 流動資産		
現金	256,677	
預金	35,654,672	
売掛金	7,291,000	
立替金	209,748	
仮払金	285,837	
流動資産合計		43,697,934
2 固定資産		
工具器具備品	33,162	
電話加入権	149,968	
差入敷金	1,573,735	
固定資産合計		1,756,865
資産合計		45,454,799
負債の部		
1 流動負債		
未払金	5,270,279	
預り金	221,015	
仮受金	45,600	
流動負債合計		5,536,894
負債合計		5,536,894
正味財産の部		
前期繰越正味財産		51,439,395
当期正味財産増加額(減少額)		11,521,490
正味財産合計		39,917,905
負債及び正味財産合計		45,454,799

(法第 28 条第 1 項関係様式)

2004年度 収支計算書

(2004年4月1日から2005年3月31日まで)

特定非営利活動法人 日本都市計画家協会

(単位 : 円)

経常収入の部			
1. 会費収入			
正会員会費収入	12,760,000		
学生会員会費収入	45,000		
賛助会員(法人等)会費収入	1,500,000		
賛助会員(個人)会費収入	1,250,000	15,555,000	
2. 事業収入			
調査研究事業	1,147,000		
政策提言事業	4,000		
普及・啓発事業	7,740,210		
支援・協力事業	0		
人材育成・研修事業	497,000		
職能確立事業	0		
国際交流事業	0		
情報発信事業	19,680	9,407,890	
3. 寄付金等収入	20,048,645	20,048,645	
4. 雑収入	0	0	
5. 受取利息			
預金利息	173	173	
経常収入合計(A)			45,011,708
経常支出の部			
1. 事業費			
調査研究事業	1,011,666		
政策提言事業	1,526,623		
普及・啓発事業	12,063,579		
支援・協力事業	3,961,014		
人材育成・研修事業	848,443		
職能確立事業	4,066		
国際交流事業	364,782		
情報発信事業	4,332,512	24,112,685	
2. 管理費			
事務所賃借費・水道光熱費	4,091,155		
人件費・交通費	11,065,992		
その他	5,389,055	20,546,202	
3. 予備費	0	0	
経常支出合計(B)			44,658,887
当期収支差額(A) - (B)			352,821
前期繰越収支差額(C)			39,565,084
次期繰越収支差額(A) - (B) + (C)			39,917,905